

# 孤立死ゼロの地域を目指して

## 〈一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる地域づくり〉

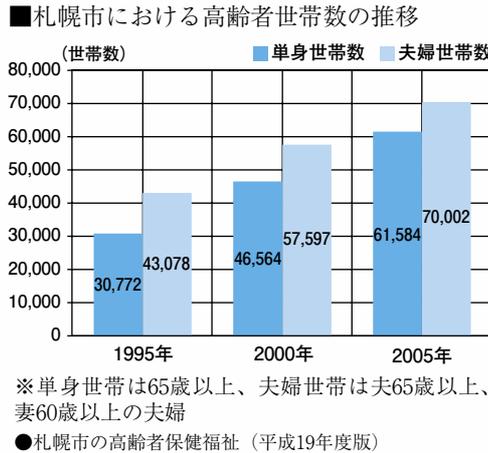
高齢者を取り巻く環境の変化から、一人暮らしの高齢者の孤立死が懸念されてきています。今月は、一人暮らしの高齢者が、安心して暮らせる地域づくりの取り組みについて紹介します。



### 孤立死っていったい何？

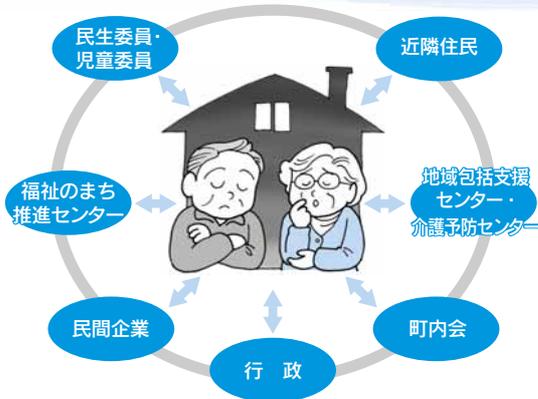
「孤立死」とは、一般的に一人暮らしなどの高齢者が誰にもみとられることなく、自宅で突発的な疾病などによって死亡することをいいます。孤立死は、地域機能の低下や隣人関係の希薄化などによって今後さらなる増加が懸念されています。札幌市では「2週間ごと程度に見守るものがない、独居、または夫婦、高齢者のみの世帯」を対象に対策を進めています。

### 札幌市を取り巻く環境



現在、全国的な傾向として、高齢化や核家族化の進行、また、集合住宅に居住する単身の高齢者の世帯が増加することで、孤立死も増加しています。札幌市も例外ではなく二〇〇五年の時点で、65歳以上の単身世帯は六万一千五百八十四世帯と、一九九五年の三万七千七百七十二世帯から倍増し

### 一人暮らしの高齢者を見守るネットワーク



一人暮らしの高齢者を見守るために、近隣住民、町内会、福祉のまち推進センター、地域包括支援センター、介護予防センター、民生委員・児童委員、民間企業、行政など、さまざまな主体が一人暮らしの高齢者にかかわり、ネットワークを形成していく必要があります。

### 一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるために

一人暮らしの高齢者を孤立死から守り、安心して暮らせるようにするためには、「高齢者の孤立を防ぐこと」が重要です。一人暮らしの高齢者を見守るために、近隣住民、町内会、福祉のまち推進センター、地域包括支援センター、介護予防センター、民生委員・児童委員、民間企業、行政など、さまざまな主体が一人暮らしの高齢者にかかわり、ネットワークを形成していく必要があります。

### 福祉のまち推進センター

地域ぐるみで互いに支え合う環境を整え、誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることを目的とし、市民の方々による自主的な福祉活動を行う組織としてほぼ連合町内会単位ごとに設置されています。一人暮らしの高齢者世帯などの見守り・安否確認や一人暮らしの高齢者等の会食など、地域の方々による自主的な福祉活動を行っています。

※手稲鉄北地区は2009年3月に（曙7-3）へ移転予定。

詳細 手稲区社会福祉協議会（手稲区民センター内）  
☎681-2400 内線（365・366）

地区	住所 電話
手稲中央地区 （手稲コミュニティセンター内）	手稲本町3-1 ☎695-2420
手稲鉄北地区※ （手稲鉄北まちづくりセンター内）	曙2-1 ☎684-5365
前田地区 （前田まちづくりセンター内）	前田6-9 ☎695-9512
新発寒地区 （新発寒地区センター内）	新発寒5-4 ☎694-2151
富丘西宮の沢地区 （富丘高台団地集会所内）	富丘3-6 ☎695-1294
稲穂金山地区 （稲穂会館内）	稲穂3-5 ☎699-3615
星置地区 （星置地区センター内）	星置2-3 ☎826-5294